

## 4 - 15 伊豆半島におけるラドン観測 (XII) Radon Observation in the Izu Peninsula (XII)

東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

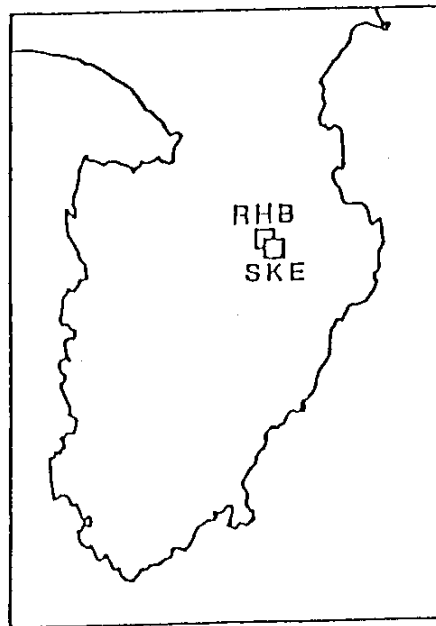
前報<sup>1)</sup>にひきつづき、伊豆半島における地下水中のラドン濃度の連続観測結果(1993年11月～1994年11月)を報告する。

観測点は、第1図に示す中伊豆第1(SKE)、中伊豆第2(RHB)の2地点である。第2図は各観測点における、1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均の変動で、縦軸はこの期間の平均値に対する相対値である。なお、RHBでは1994年2月にラドン測定装置を更新した。RHBの図においては1993年11月1日から1994年2月2日までと、1994年2月4日から4月5日まで、4月6日から11月20日までの3区間に分けて、それぞれの期間の平均値に対する相対値で示してある。1994年2月4日から4月5日の間のラドンの係数率が低いのは、装置の気相温を通常値(35℃)より10度低く設定したためである。

SKEのラドン濃度は極めて一定であるが、9月以降緩やかな上昇が見られる。RHBでは、例年夏期に比べて冬期のラドン濃度は低く、変動も大きい。

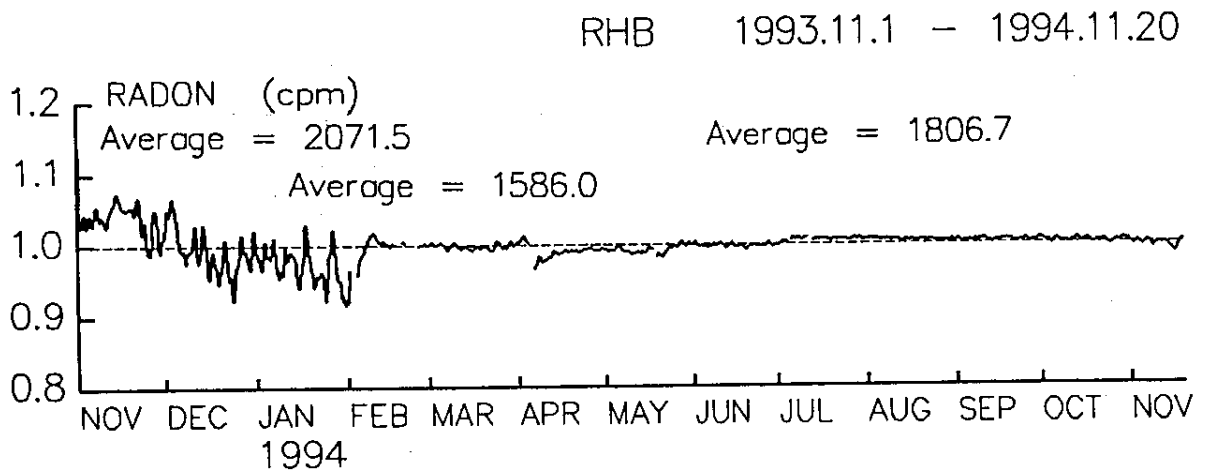
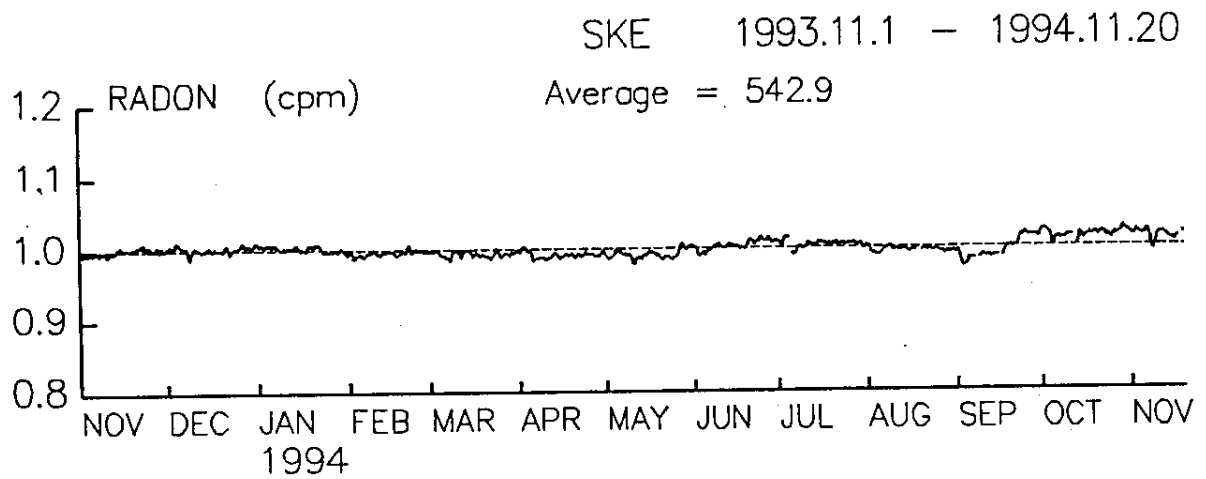
### 参 考 文 献

- 1) 東京大学理学部：伊豆半島におけるラドン観測(XI)，連絡会報，51(1994)，428-429。



第1図 伊豆半島の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the Izu Peninsula.



第2図 SKE (中伊豆第1), RHB (中伊豆第2) における地下水中のラドン濃度の変化  
(1993年11月~1994年11月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SKE (Nakaizu-1) and RHB (Nakaizu-2). (November 1993-November 1994). The data are 24-hour moving average values.